

参考資料：成果にかかわる論文、報告書等のリスト

研究構成		論文、報告書等
I	降雨予測情報等を活用した次世代型水管理技術に関する検討【I】	
1	洪水・氾濫予測に関する検討	
1-1	XバンドMPレーダの実用化と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>笠井雅弘、服部敦、土屋修一(2009):高精度レーダによるゲリラ豪雨に対応した監視・予測情報の配信に向けて、雑誌「河川」平成21年3月号、pp.47~50、日本河川協会</li> <li>土屋修一(2009):Xバンドマルチパラメータレーダによる豪雨監視、土木技術資料 平成21年10月号、p.22~25、土木研究センター</li> <li>河川研究部気候変動研究チーム(2010):最新型レーダによる豪雨観測情報の配信開始について、国総研ニューズレター No.33, 2010、国土技術政策総合研究所</li> <li>三石真也, 角哲也, 尾関敏久(2010): WRFによる降雨予測を活用したダム操作に関する検討, ダム工学 Vol.20 No.2, pp.94-104, ダム工学会</li> </ul>
1-2	水系全体で洪水予測を可能にするための手法開発	
2.	ダムの効率的運用手法に関する検討	
2-1	事前放流における水位低下・上昇特性の定性的分類の検討	
2-2	降雨予測を活用した事前放流を含む新たな洪水調節方式検討	
2-3	ダム管理への活用を目的とした降雨予測精度の検討	
3.	洪水・氾濫に対する避難基準水位の設定等に関する検討	
3-1	洪水氾濫時の水防活動及び避難行動の分析	
3-2	降雨及び流域特性と河川の水位上昇速度の関係の分析	
II	地球温暖化による河川・海岸への影響と対応策に関する検討【II】	
1	河川における洪水氾濫に着目した検討	
1-1	気候変動予測成果を活用した豪雨時の降雨量設定手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>柏井条介、土屋修一、石神孝之(2008):気候変動による豪雨時の降雨量変化予測—GCM20による評価を中心に—、国土技術政策総合研究所資料 第462号、2008年5月</li> <li>Kashiwai J, Iino S, Tsuchiya S(2009)., Projection of Japan's storm rainfall intensity affected by global climate change, Proc. of the 6th East asian area dam conference, pp.61-68, 2009</li> <li>柏井条介、飯野光則、野口賢二、土屋修一、小野田恵一(2009):気候変動に伴う河道管理への影響評価、21世紀気候変動予測革新プログラム「超高解像度大気モデルによる将来の極端現象の変化予測に関する研究」平成20年度研究成果報告書、pp.77~88、文部科学省研究開発局</li> <li>藤田光一、服部敦、菊森佳幹、野口賢二、土屋修一(2010):気候変動に伴う河道管理への影響評価、21世紀気候変動予測革新プログラム「超高解像度大気モデルによる将来の極端現象の変化予測に関する研究」平成21年度研究成果報告書 pp.83~93、文部科学省研究開発局</li> </ul>
1-2	堤防に作用する水理外力の評価手法の高度化検討	
1-3	気候変動が氾濫危険性と河川整備に与える影響のマクロ評価	
1-4	水害時の情報提供のあり方の提言	
2	海岸防護への影響に着目した検討	
2-1	海面上昇の実態分析と潮位設定についての検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>笹岡信吾・福濱方哉(2007):等深線変化モデルを用いた潮位上昇が海岸侵食に与える影響予測手法、土木技術資料、第49巻第7号、pp.48~51、土木研究センター</li> <li>野口賢二・加藤史訓・土屋修一(2008): Can indications of climate change impacts be detected from recent phenomena in Japanese coasts? WORLD ENVIRONMENTAL AND WATER RESOURCES CONGRESS 2008 (Proceedings), 論文ファイル番号 291, A S C E</li> <li>野口賢二, 福濱方哉, 竹内一浩, 山本享(2008):天気図から抽出した擾乱データセットを用いた近年の海岸災害と気象の関係, 海岸工学論文集, 第55巻, pp.1336-1340, 土木学会</li> <li>野口賢二(2009):我が国沿岸の外力環境の変化現況と気候変動に向けた外力設定の検討, 極端気象現象とその気候変動による影響評価に関するシンポジウム報告書, p.104, 京都大学防災研</li> <li>野口賢二・諏訪義雄・五味久昭・松藤絵理子(2010):気候変動</li> </ul>
2-2	極端現象を引き起こす気象擾乱の経年変化特性の分析	
2-3	気候変動が高潮外力に及ぼす影響の見積もり	
2-4	海岸防護構造物を対象にした気候変動を考慮したマネジメント	

		<p>適応に向けたわが国沿岸の既海面上昇基準量の設定にむけて、海岸工学論文集、第 57 巻、土木学会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>野口賢二・青木健次・板橋直樹・五味久昭・佐藤慎司・渡邊国広・茅根 創(2010):サンゴ州島の形成・存続条件としての台風とビーチロック、海岸工学論文集、第 57 巻、土木学会</li> <li>野口賢二・諏訪義雄(2010):現地海岸を対象とした気候変化に伴う海岸堤防・護岸の越波特性の変化に関する検討、海洋開発論文集、Vol.26, pp.45~50, 土木学会</li> </ul>
3	水管理への影響に着目した検討	
3-1	気候変動が世界の水需給バランスにあたる影響の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>尾関敏久(2009):気候変動による世界の水資源量変化及び社会的影響に関する研究、国土技術政策総合研究所研究発表会資料 平成 21 年 6 月 17 日</li> </ul>
3-2	地表水到達水量に及ぼす気候変動影響の全国傾向の分析	
3-3	降水量変化が河川流況に与える影響の簡易推定法	<ul style="list-style-type: none"> <li>土屋修一、服部敦(2008):気候変動による降水量変化に対する河川流量の応答に関する考察、水文・水資源学会研究発表会要旨集、pp.152~153、水文・水資源学会</li> <li>土屋修一、服部敦(2008):気候変動によるダム流入量の変化に関する研究、第 63 回土木学会年次学術講演会講演概要集</li> <li>土屋修一(2009)、気候変動による河川流量の変化について、リバーフロント Vol66, 2009. pp.13~16、リバーフロント整備センター</li> <li>土屋修一(2009):気候変動による河川流量の将来変化について、極端気象現象とその気候変動による影響評価に関するシンポジウム報告書、pp.73、京都大学防災研究所</li> </ul>
3-4	渇水時における低水管理の高度化手法の開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>三石真也、依田憲彦、豊田忠宏(2010):筑後川流域水収支評価モデル及び水需給把握システムの構築、ダム技術 NO.287, pp.54-62、(財)ダム技術センター</li> <li>S-4 温暖化の危険な水準及び温室効果ガス安定化レベル検討のための温暖化影響の総合的評価に関する研究、2.(1)④ 温暖化各レベルに対応する水資源マネジメントの政策オプションに関する研究、地球環境研究総合推進費報告、環境省</li> </ul>
3-5	ダム群再編に関する課題分析と対応策	
III	気候変動の影響に適応した国土保全方策の検討【III】	
1	国土の脆弱性に関する俯瞰的評価の検討	
1-1	長期沿岸防災計画のための地域タイプ分けと特性分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>野口賢二・福濱方哉・五味久昭・五十嵐竜行・板橋直樹・鈴木純平(2007):気候変動に対応可能な長期的沿岸防災計画に向けた地域特性分析、海洋開発論文集、Vol.23, pp.147-152 (論文番号 15) 土木学会 海洋開発委員会</li> </ul>
1-2	気候変動に伴う降雨変化と斜面崩壊危険度との関係評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>桂真也・富田陽子・小山内信智・井出修・和田博(2010):がけ崩れの災害リスク評価手法の検討、平成 22 年度砂防学会研究発表会概要集、p.414~415</li> <li>桂真也・富田陽子・小山内信智:がけ崩れ災害の実態(昭和 47 年~平成 19 年)及びがけ崩れ災害リスク分析手法の開発について、地すべり研究(第 54 集)</li> </ul>
2	水関連災害の被害評価手法の高度化検討	
2-1	水害の経済評価の高度化と改良	
2-2	渇水被害把握の高度化と改良	<ul style="list-style-type: none"> <li>依田憲彦、三石真也、服部敦(2009):給水制限を考慮した渇水被害レベルの区分、土木技術資料、VOL51 NO.10, pp26-29, (財)土木研究センター</li> <li>依田憲彦、三石真也(2010):断水社会実験による渇水被害の分析、土木学会年次学術講演会論文集、第 65 回、pp511-512, 土木学会</li> </ul>
3	水害に関する気候変動への適応ガイドラインの検討	<a href="http://www.mlit.go.jp/river/kokusai/guidelines/jpn_index.html">http://www.mlit.go.jp/river/kokusai/guidelines/jpn_index.html</a>